

海洋基礎実習

1年次 / 1単位

前期集中

必修

学科専任教員

学科・クラス 指 定 等	海洋生物資源科学科学生に限る
学習目標	本実習では、「海と親しむ」「海の生物と親しむ」および「人と親しむ」を目的としている。フィールドでの調査・実習に参加することによって海洋環境や海洋生物の多様性を理解し、学科での今後の勉学に役立てようとするものである。すなわち、地曳網の体験および漁獲物の分類、水族館の見学および臨海実験所で実施される多岐にわたる実験・実習を通じて海洋生物資源科学を学習する上での基礎的な理解力を養う。また、同級生と寝食を共にすることで協調性や社会性を向上させる。以上の学習目標は、海洋生物資源応用コースの学習・教育目標、(F)- : 海洋生物資源科学全分野の基本概念と概要および最先端の展開と問題点が説明できる。その他(A)- に相当する。
学 び の キ ー ワ ー ド	漁業体験、水族館、磯採集、乗船実習、生物の観察と同定、解剖、スケッチ、海洋観測、発生実験
準備学習及び復習 の内容・履修条件	「海の危険性とどの対処法」「海の有毒生物」の講義を理解し、手引書を熟読しておく。 履修条件：必修。地曳網、水族館見学および臨海実験所での実習にすべて参加し、その都度、レポートを作成して提出する。
授業方法	学生を班分けし、実施要綱に従って鵜沼海岸、新江ノ島水族館、下田臨海実験所で集中的に実施する。
成績評価 基 準	受講態度（出席）およびレポートによる総合評価。すべての行事に参加し、フィールド調査の意義や海洋生物の多様性、海洋環境の特徴などを理解し、レポートで示すことができれば合格（60点）。
備 考	教科書：海洋基礎実習の手引き（授業中に配布） 参考書：「水族館と海の生物たち」（恒星社厚生閣） オフィスアワー：（各教員が指示）

回 数	授 業 内 容
1	ガイダンス
2	鵜沼海岸での地曳網
3	漁獲物の整理および同定
4	新江ノ島水族館見学
5	下田臨海実験所での実習： 手漕ぎボート実習 プランクトン採集
6	プランクトンの観察、同定およびスケッチ
7	実験所周辺での磯釣り
8	調査船に乗船し、沖釣りおよび海洋観測
9	漁獲物の観察、同定およびスケッチ
10	漁獲物の解剖およびスケッチ
11	実験所周辺での磯採集
12	採取した生物の観察、同定およびスケッチ
13	ウニの人工授精実験
14	ウニの初期発生の観察およびスケッチ
15	実習の成果および感想を中心としたプレゼンテーション